

泉佐野市田尻町清掃施設組合のホームページでは、第二事業所の混雑状況が分かるライブカメラを公開しています。

詳しくは当組合のホームページ

<http://sanotajiri.la.coocan.jp/>

をご覧ください。



ライブカメラの映像より

施設の特徴

■環境保全に万全を期しています

自然と環境を守るため、環境保全に特に留意して、公害防止技術を結集し、万全を期しています。

- ・高性能のバグフィルタにより「ばいじん」を除去しています。
- ・「汚染物質」の除去については、湿式洗煙方式により塩化水素(HCl)や硫酸化合物をいずれも国の基準以下にしています。
- ・「ごみの臭気」は、ごみピットと外気を遮断し、燃焼用空気として焼却炉内へ送入し、850℃～950℃の高温で分解させることで、無害・無臭化を図っています。
- ・「ごみ汚水」は、焼却炉内に噴霧して焼却し、「工場排水」についても、工場内で再利用するほか、排水処理設備で無害化処理した後、下水道に放流しています。
- ・工場内の各種機械から発生する「騒音」は、吸音板などにより、騒音防止を図っています。

■有効な余熱利用

ごみの焼却熱を利用して温水をつくり、工場内での余熱利用を図っています。

■有価物の再資源化

破碎施設では、鉄・アルミニウムなどを有価物として回収し、資源の有効利用を図っています。

焼却施設

■建設概要

- ・着工 昭和58年2月8日
- ・竣工 昭和61年3月31日
- ・処理能力 240t/24h(80t/24h×3基)
- ・建築面積 2,815㎡(附属棟を含む)
- ・延床面積 4,874㎡(附属棟を含む)
- ・総事業費 37億8,000万円

■施設概要

- ・炉型式 全連続燃焼式
- ・燃焼ガス冷却方式 水噴射式
- ・給じん方式 ピット・アンド・クレーン方式
- ・灰出方式 ピット・アンド・クレーン方式
- ・通風方式 平衡通風方式
- ・除じん方式 バグフィルタ
- ・洗煙方式 湿式ガス洗浄設備

破碎施設

■建設概要

- ・着工 昭和57年7月5日
- ・竣工 昭和58年3月31日
- ・処理能力 50t/5h
- ・建築面積 753㎡
- ・延床面積 926㎡
- ・総事業費 5億6,500万円

■施設概要

- ・形式 横軸回転式
- ・受入供給方式 ピット・アンド・クレーン方式
- ・選別方式 鉄分・不燃分・可燃分(機械選別)
- ・アルミニウム
- ・集じん方式 サイクロンとバグフィルタ併用

配置図



付近図



○ 南海本線「吉見ノ里駅」より東へ徒歩10分

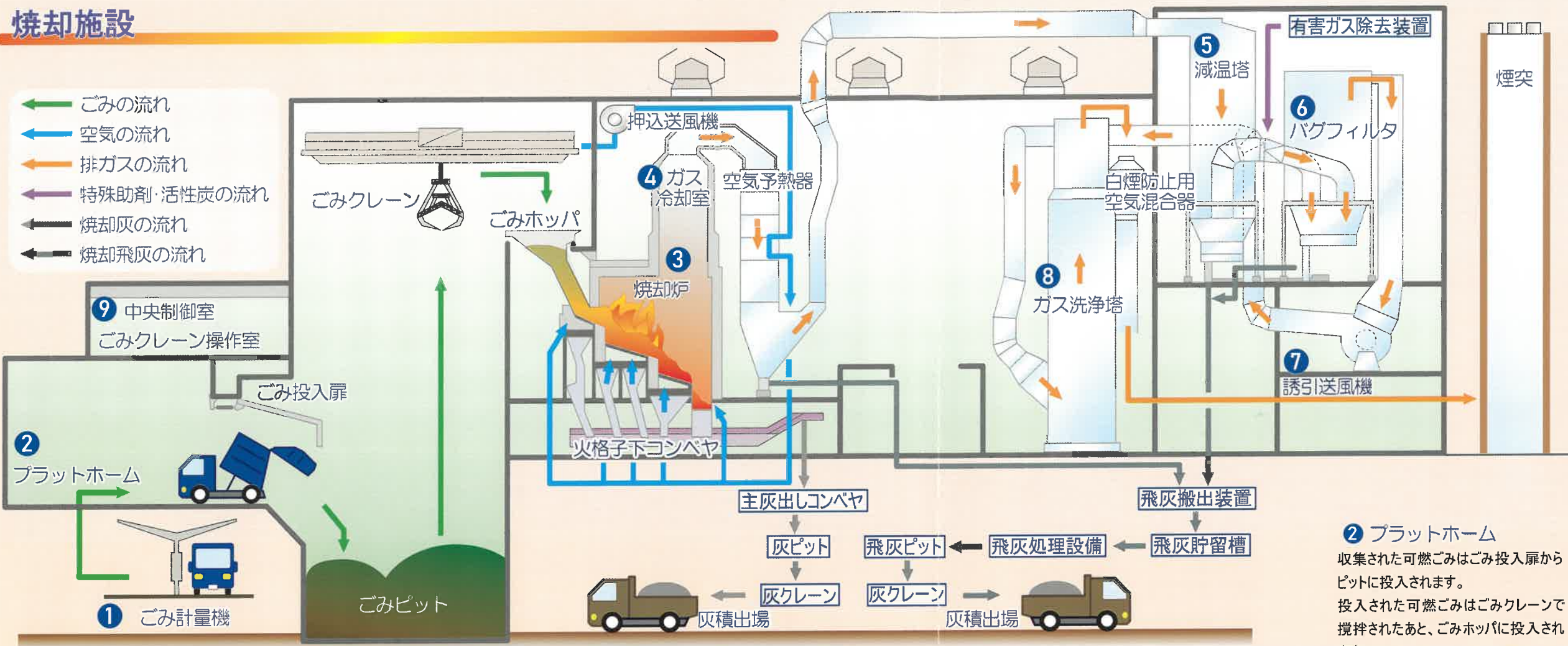


泉佐野市田尻町清掃施設組合第二事業所

泉佐野市田尻町清掃施設組合第二事業所

〒598-0091
大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺290番地1
tel 072-466-3353
URL <http://sanotajiri.la.coocan.jp/jigyosho2.htm>

焼却施設



9 中央制御室・ごみクレーン操作室



焼却炉の運転、ごみクレーンの操作、公害対策機器の監視・制御など、全ての運転・管理がここで行われています。

1 ごみ計量機



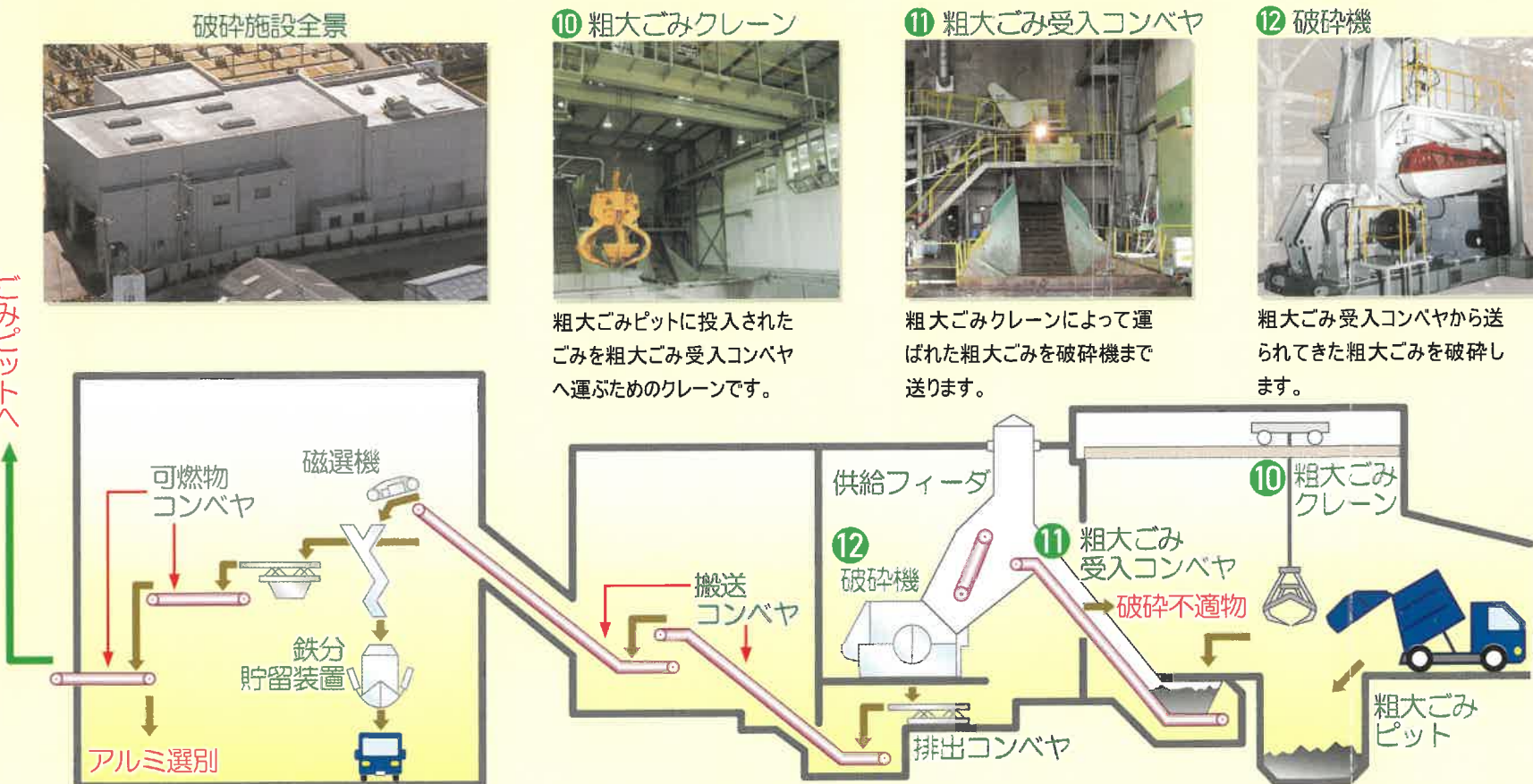
本施設に搬入されるごみを計量し、同時に重量やごみの種類などのデータを印字・記録します。



2 プラットホーム

収集された可燃ごみはごみ投入扉からピットに投入されます。投入された可燃ごみはごみクレーンで攪拌されたあと、ごみホッパに投入されます。

破碎施設



3 焼却炉



ごみホッパに投入されたごみを焼却します。焼却炉内は850～950℃の高温で燃焼し、ごみの臭気成分も熱分解されます。

4 ガス冷却室



ごみを焼却することにより発生したガスを350～400℃に冷却します。

5 減温塔



ダイオキシン類の発生を抑制するため、排ガス温度を200℃以下にまで冷却します。

6 バグフィルタ



排ガス中に含まれるばいじんやダイオキシン類を含む有害な物質を効率よく取り除きます。

7 誘引送風機



誘引送風機によって、排ガスを煙突から円滑に排出させることができます。

8 ガス洗浄塔



排ガスを洗浄することによって、排ガス中に含まれる塩化水素や硫酸化合物などの有害物質を取り除きます。